

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	中央町市営駐車場管理事業			コード	21204	
2 担当部課	部等	経済部	課等	商業観光課	作成者	佐藤 嘉泰
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	商業の振興	
		予算科目	中央町駐車場管理事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市駐車場条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	中央町市営駐車場の施設の維持管理	
目的	対象者	施設利用者
	意図	利用者が安全に駐車できるように、施設の適切な維持管理を行う。

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	25年度指定管理料 円
施設における通常業務	収容可能台数：合計465台（3F62台、4F84台、5F88台、6F78台、7F75台、屋上78台） 区分所有施設であるため、イルプラザアミューズメント管理組合に対して、共有部分にかかる管理費は、共益費負担分として支出している。
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 25年度実績 入庫台数214,642台 1日平均入庫台数588台 収入額7,597,500円 駐車場管理委託先 シルバー人材センター 警備保安業務委託先 長野県パトロール(株)
前年度の課題への対応	なし

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	99.7%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	366	365	365	365
1日の開設時間（時間）	24	24	24	24
年間利用可能時間（時間）	8,784	8,760	8,760	8,760
年間利用実績（時間）	8,760	8,760	8,760	
② 年間利用者数（人）	212,691	213,638	215,843	213,120
有料利用者数	3,561	4,022	4,077	4,000
無料利用者数	209,014	209,500	211,621	209,000
減免措置者数	116	116	145	120
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	581.1	585.3	591.4	583.9
⑤ 施設利用状況の説明	駐車1台につき5時間を超える1時間ごとに250円、5時間未満は無料。			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	26,766,567	26,702,895	26,174,937	26,312,000
経常経費	26,766,567	26,702,895	26,174,937	26,312,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	3,440,000	3,440,000	3,440,000	3,440,000
正規職員の人数(人)	0.43	0.43	0.43	0.43
③ 合計コスト(①+②)	30,206,567	30,142,895	29,614,937	29,752,000
前年度比		99.8%	98.2%	100.5%
財源	23,381,267	23,341,395	22,017,437	23,208,000
内訳				
一般財源	23,381,267	23,341,395	22,017,437	23,208,000
特定財源	6,825,300	6,801,500	7,597,500	6,544,000
* 特定財源の説明	一般駐車及び定期駐車使用料収入			
④ 施設使用料年間収入額	6,825,300	6,801,500	7,597,500	6,543,000
⑤ 年間減免措置額	6,970,000	4,320,000	4,892,000	4,300,000
⑥ 受益者負担割合	51.5%	41.6%	47.7%	41.2%
⑦ 活動一単位あたりコスト	142	141	137	
前年度比		99.3%	97.2%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	標準
評価項目		はい	いいえ
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
②	民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③	民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		0
④	国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤	この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価	* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
①	この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
②	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③	この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④	施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 101.0%
⑤	施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比 111.7%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 特になし
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特になし
	改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
	予定事業費	円	予定時期
内容	特になし		